

【自己紹介】私は 1990 年(平成 2 年)生まれで、大学卒業まで千葉県で育ちました。就職を機に、大好きな祖父母が生まれ育った北海道で仕事がしたく、明治コンサルタント株式会社に入社し、2023 年(令和 5 年)から株式会社ドーコンで勤務しています。この間に子供を 2 人出産して 2023 年(令和 5 年)に技術士に合格しました。今はシングルマザーをしながら河川環境分野を専門として河川整備計画検討や自然再生事業等の業務に従事しています。

【自分なりのワークライフバランス】ここ 10 年程で業界内外問わず労働環境が大きく変わりましたが、ひとり親で技術者をやっている人はなかなか居ないと思います。私の場合は、近場の現場を担当させて頂いたり、タスク配分を調整したりと、部署内のチーム力の恩恵を受けています。しかし、最後は「自分次第」だと思っています。今の仕事を選んだこと、子供を育てること、全て自分で希望して選択したからこそ、多少壁にぶつかっても充実した気持ちで仕事や家庭に打ち込めています。

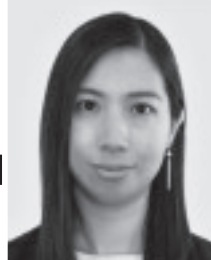
【これから自分は何ができるか】私は今までの社会人生活で「好き」や「やりたい」を見つけて関わっていただけることの有難さや大切さを学びました。私が所属している青年技術士交流会では、小学校や大学等へ出前授業を行い、技術士の魅力発信や知名度向上に取り組んでいます。このような技術士会の活動を通して、これから社会人になっていく学生達の「好き」や「やりたい」を見つけるお手伝いになればと思っています。また、技術士となり技術者としてようやくスタートラインに立てたので、これからも技術の研鑽に励み、社会に貢献できる人材へ成長していく決意でいます。

丸山 緑(まるやま みどり)

●建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)

勤務先

株式会社ドーコン 河川環境部



→次号は、平岡城栄さん(建設部門/総監)

私は北見市で生まれ、大学卒業までの 20 年弱を北見市で過ごしました。大学卒業後は清水建設株式会社に入社して北海道支店に配属となり、工業団地の造成工事現場と山岳道路トンネル工事現場にて施工管理業務、土木技術部にて主に仮設構造物の計画・設計や、現場への技術支援業務に従事していました。生まれてから 30 年弱を北海道で過ごしてきましたが、昨年の 6 月より東京本社に異動となり、現在は生まれ故郷・北海道を離れて業務に勤しんでおります。現在の部署でも前部署と同様に主に開削工事における仮設構造物の計画・設計や、現場への技術支援業務に従事しています。

技術士資格は 2022 年に 4 回目の受験で取得することができました。受験を開始した当初は“いつかは取得しなければ”と思いつつも、自分が目指している“技術士”とはどういう存在なのかということをおろそかにして考えていなかったように思います。しかし、日々の業務や青年技術士交流委員会での活動等を通じて、徐々に技術士に求められる資質や考え方について意識するようになり、同時に自分とのギャップを認識するようになっていきました。足りない部分を補うようにと意識して業務や研鑽に取り組むようになると仕事がさらに面白くなるとともに、何を書いたらいいのか分からず途方に暮れていた筆記試験の問題も自然と答案用紙を埋められるようになっていきました。

技術士資格を取得した今でもまだまだ未熟だなと思う部分はありますし、業務遂行の上でたくさん迷うこともあります。そんな中でも“技術士”として最良の判断ができていくか常に自らに問いかけ、これからも日々の業務と自己研鑽に励みたいと思います。

仁義 水緒(じんぎ みお)

●建設部門(施工計画、施工設備及び積算)

勤務先

清水建設株式会社



→次号は、太田真吾さん(建設部門)